

令和3年度 社会福祉法人高森町社会福祉協議会 事業報告

1 はじめに

長期に渡る新型コロナの終息は見えぬまま、令和3年度もコロナ禍における事業展開となり、ボランティアセンターは通年コロナワクチン接種会場となり、現在に至っています。

『デルタ株』による急激な感染拡大の第5波と共に、緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置が示され、長野県は、8月20日にはレベルが5へと引き上がり、合わせて施設は一般貸し出し停止の状況となりました。ワクチン接種が高まる中、年が明け、変異ウイルス『オミクロン』の第6波の感染拡大から、県下も1月24日～3月6日までの蔓延防止等重点措置がとられ、急速に飯田下伊那地域のコロナ感染の脅威を身近に感じる事となりました。当会も職員感染を機とし、状況の見極めの為、通所事業を4日間休業としました。

介護保険事業においては、第8期改定により『LIFE』の定着化に向け、タブレット・ソフトを活用し、業務の効率化に向けた取り組みを始めた年度でもありました。

充実計画の一つ、第三者評価の受審においては、事業所別に多くの課題が見えてきました。PDCAサイクルの重要性を認識し、継続をする事は、サービスの質の向上や、ご利用者様、ご家族様の満足度を高める事へと繋がる事。尊厳と権利擁護は社協の使命と役割でもあることを踏まえ今後の事業を展開していく上で貴重な機会を得たと感じます。

コロナ禍における各事業は、昨年同様状況を見極めながらの対応となりました。令和2年度に実施できなかった介護者リフレッシュ事業は早々に計画を立て実行し、今年度はフードパントリーも新たな取り組みとして展開できました。また日常生活自立支援事業も単独実施に踏切り、包括・ソーシャルワーカー・ケアマネジャーからも相談を戴き、徐々に支援者は増加しています。

包括的相談業務、ひとむすびや赤い羽根共同募金等様々な事業から繋がり広がる支え合いを目指し、社協の役割を今後も深めて参りたいと思います。

当会の事業運営にあたりまして、関係者の皆様・各機関・町内の皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

2 事業実績

(1) 施設整備等 (主たるもの抜粋)

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・別館西の間クロス張替 ・総務プリンター購入 ・ボランティアセンターパソコン購入 ・防火シャッター チェーン交換 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・1階身障トイレ床の水漏れ修理工事 ・介護用浴槽機器 (介護浴槽・搬送車2台) 購入
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・厨房冷蔵庫購入 ・ボイラー室水漏れ修理 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関・ホールのガラス飛散防止フィルム貼り ・通所入り口・1階傾斜路の壁紙張替 ・ダイルーム洗面台補修工事
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・介護ケア記録システム導入 ・個別援助用計画ソフト導入 ・タブレット購入 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ほのぼの給与・財務会計のクラウド変更 ・AED新機種契約更新
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいき女子トイレ暖房便座取替 ・ふれあいルーム換気扇取替 ・いきいき女子トイレ換気扇取替 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・別館カーテンクリーニング ・床暖ボイラーのバーナー交換 ・給湯器ボイラーのバーナー交換

・防水屋根修理工事 ・別館暖房機器取り換え (町)

(2)車両更新 納車日

- ・日本財団車両（スズキ・エブリイ） 5月27日
- ・通所介護車（トヨタ・ノア）4月28日
- ・居宅（ダイハツ・ミライース）7月15日
- ・総務（スズキ・アルト）8月4日
- ・メンテナンスリース契約 通所送迎車両
（日産キャラバン）11月25日・（トヨタハイエース）12月15日

(3)職場内研修 学習会

- ・7月16日 長野県看護協会：訪問看護認定看護師：患者と家族支援について
- ・11月17日、11月26日 消防署：救命救急講習
- ・2月18日 介護労働安定センター：リーダーに求められる『統率する力』&『委ねる力』
- ・3月25日 事業所におけるコロナ感染対応の振り返り

(4)コロナ禍の関連事業

- ・感染対策物品の購入
検査キット・マスク・眼鏡式フェイスシールド・予防衣・アクリル板・アルコール・手袋
ペダル式ゴミ箱
- ・職場内のコロナ感染における対応マニュアル作成
- ・感染拡大地域の往来による利用者家族・職員対応
（感染地域の見極め・サービス利用検討・抗原検査の実施等）
- ・介護職員抗原検査の実施 PCR検査の実施
- ・6月24日 高森町事業者連絡会 感染対策
- ・12月9日 講義『コロナ感染対策の基本』
下伊那厚生病院医療安全管理部 感染対策室 感染管理認定NS
〈 コロナQ&A 防護衣の着脱 〉
- ・高齢者施設等従事者のワクチン優先接種が7月から開始
- ・職員のコロナ感染により、通所事業3月3日～3月7日まで休業
（3月5日 通所職員17名抗原検査実施 3月6日 通所職員1名PCR検査実施）
- ・3月9日 高齢者施設等の従事者に対する新型コロナウイルス感染症にかかる検査事業16名実施
- ・フードバンク信州コロナ対応子ども応援プロジェクトー食糧支援希望の小学生家庭対象ー
小学校へチラシ配布 HP掲載 有線放送による支援協力をお願い
- ・8月22日、12月11日、1月29日、3月5日 フードパントリー
ボランティア・お助けマンの協力にて仕分け作業
- ・一人暮らし、身障協、ボランティア、サロンへ非常食米・お多福豆の配布
- ・フードバンク実施と協力をお願い 有線・広報誌（ボランティア通信）HP発信
（町内3店舗のファミリーマート、町内住民の皆様）
- ・生活福祉資金特例貸付受付窓口
緊急小口資金 9（20人） 総合支援資金 8（13人）
- ・結婚相談
9月相談所開設 中止
- ・リフレッシュ事業 独自開催
7月1日 しゃべらまい会 参加者5名 介護体験談 折り紙 体操
- ・希望の旅
やすらぎ荘2階にて開催：演芸ボランティア2組による催しと美味しいお弁当と手作り小物
入れのお持ち帰り
一人暮らし高齢者 11月22日：参加者 22人、 11月24日：参加者 15人
障がいのある方 11月26日 10人

- ・協議体
6月・1月中止
- ・補助金、支援金の申請
〈長野県 新型コロナウイルス感染症にかかる介護サービス事業所等に対する継続支援補助金交付〉
〈県社協 生活福祉資金特例貸付事務費交付金〉

(5) 介護保険事業 () …令和2年度数値

【介護保険認定調査】

- ・今年度調査依頼 0 (0) 件
- 【居宅介護支援事業所】
- ・介護支援専門員 6名 〈主任介護支援専門員3名 兼務1名〉
- 〈主任ケアマネ更新研修:他部署 1名 ケアマネ更新研修:3名 実務研修:他部署2名〉
- ・受け持ち利用者数:月平均 173(162)件
- ・ケアプラン作成:年間 2,081 (1,947) 件

計画実施状況

- ・ウイルス感染状況により、実施状況の対応を検討した
- ・新規ケアマネの育成についてはマニュアル作成を行いたい
- ・今年度新規ケアマネについては経験もあり、移行もスムーズに行えた
〈会議参加〉
- ・広域版地域ケア会議:3回 町事業所連絡会:1回
- ・町ケアマネ会議:4回 地域ケア会議:1回 北部ブロックケアマネ会議:3回
〈事業所内のケアマネ情報共有と困難ケースの心理的軽減〉
- ・月1回の事業所内ケアマネ会議の実施で情報共有
〈各自の利用者担当件数を増やす〉
- ・実績アップにつながった

【通所介護】

- ・12月21日 指定居宅事業者実地指導
- ・1日平均利用者数 22.8 (24.2)人 〈総合事業除く〉 延6,962 (7,292) 人
- ・稼働日数 305 (307) 日
- ・介護保険改定により、個別機能訓練加算報酬額に上乗せで加算→8月より算定
- ・介護保険改定により、科学的介護推進体制加算→10月より算定

計画実施状況

- 〈介護用ソフトの活用による仕事の効率化〉
- ・タブレット・ソフトを活用した利用者情報入力に着手
- ・介護用ソフト『ほのぼのNEXT』と同タブレット端末の活用により情報の重複入力が省け、効率化に繋がった
〈利用者の意向・趣味を考慮しつつ、身体機能の維持に取り組む〉
- ・余暇活動、レクリエーションはあるが、利用者個々の意向や趣味を生かす活動には至らず
- ・利用者自身の活動選択の幅を広げる取り組みが必要
〈各機関連携〉
- ・担当者会議での情報共有を行っている。特に傷病処置に関する情報は共有している
〈ボランティア活動、学生の受入れを通して地域交流を図る〉
- ・通所利用者と直接接触しない形で、継続的にベッド消毒・シーツ交換をお願いした
- ・コロナ禍において福祉活動自粛となることも多かった。今後受入れ可能な体制を考えながら対応したい

【訪問介護】

- ・12月21日 指定居宅事業者実地指導
- ・年間訪問回数 6,082 (7,065) 回

計画実施状況

〈 利用者の生活の質の向上 〉

- ・個別援助計画を個別性の高い内容に努め立案したが、職員全体への周知方法が不十分だった
- ・全体会での周知を徹底

〈 スタッフの質の向上 〉

- ・全体会での研修（勉強会）を計画したが、コロナ禍により、4.8.1.2月は開催中止
- ・倫理及び法令順守・災害への備えと対応について・患者家族の理解と支援・認知症・安全運転救命救急講習・事故防止再発防止・虐待の内容で勉強会に取り組んだ
- ・各自の研修受講を行い自己研鑽に取り組んだ
- ・マニュアルの見直しと作成に取り組めた
- ・誤薬事故・ヒヤリハット（物品の破損 訪問忘れ・訪問時間の遅れ等）
→事故防止・再発防止の研修 と注意喚起を行っていく
- ・苦情（接遇・隣人宅への車侵入）→接遇研修 （利用者との距離・言葉使い等）

〈 特定事業所加算算定要件の状態維持 〉

- ・加算要件の非常勤職員の定期的な健康診断の実施を行った→継続していく

〈 人材確保 〉

- ・正規職（39歳）入職1名 パート職1名（73歳）退職

〈 感染対策 〉

- ・必要物品の支給 マスク・フェイスシールド

(6) 総合事業(高森町介護予防・日常生活支援事業)

【いきいき倶楽部】

〈介護予防と自立支援〉

- ・健康センターあさざり健康運動指導士による出張教室 12月19日～12月21日、12月24日、12月25日
- ・柿丸チャレンジ 利用者全員
- ・稼働日数 253 (256) 日 ・延利用者数 2,735 (2,654) 人

【やすらぎ荘】

- ・延利用者数 985 (925) 人

【訪問介護】

- ・延訪問回数 1,344 (1,495) 回

(7) 障がい者総合支援法（障がいの種類に関係なく共通のサービス利用が可能）の訪問介護

【居宅介護（ホームヘルプ）】

- ・延利用者数 61 (59) 人
- ・訪問回数 1,339 (1,528) 回

(8) 法人運営事業

【施設管理】

- ・老人福祉センター・やすらぎ荘別館
施設利用者名簿記入 熱発の有無を含めた身体状況の記録 活動後の消毒に留意した使用依頼
令和3年8月20日 長野県全県レベル5となる 8月22日～9月18日まで一般貸出停止
令和4年1月27日～3月6日 蔓延防止等重点措置適用地域 1月10日～3月9日まで一般貸出停止

- ・あさぎりの郷（地域交流センター）
令和2年12月28日～閉鎖継続中
令和3年度は新型コロナワクチン接種会場 インフルエンザワクチン接種会場
- ・老人福祉センター年間延団体数 160（110） 延利用者数 1,657（2,179）人
- ・あさぎりの郷（地域交流センター）年間延団体数 0（233）人 延利用者数 0（1,685）人
- ・やすらぎ荘別館年間延団体数 53（18） 延利用者数 514（120）人

【結婚相談】→令和4年度 包括的相談事業として対応

- ・開催月：奇数月開催（9月：県の蔓延防止重点措置により中止）
- ・相談者：男性8（母親2人・父親1名含む）（2）人
- ・今後の結婚相談について相談サポーター員と協議（サポーター任期と今後）7月17日
- ・町健康福祉課と今後の事業の検討会議 8月4日
- ・北部地区結婚相談幹事会 12月1日
- ・『ともキャン』6月（中止）7月のお誘い
- ・ながの結婚マッチングシステムリニューアルのパンフレット送付
- ・喬木村の令和4年4月のイベントお誘い

【高齢者・障がいのある方等への支援】

- ・こんにちはコール 延回数 305（358）回 対象者：6（6）人
- ・安心カード（健康情報保管容器）配布 累計 699（543）人 667（467）世帯
- ・希望の旅 高齢者一人暮らし 11月22日 22人 11月24日 13人
障がいのある方 11月24日 13人
- ・独自リフレッシュ事業 7月1日
- ・絵手紙送付 10回 340通（年7回 206通）
- ・寿タクシー利用者証発行 高齢者 83（82）人 障がいのある方 2（10）人
- ・スマホ教室 参加者18人 若者特命係の有志協力（現地2名 オンライン3名）7月10日

【まいさぼ出張所】

- ・就労相談 取次 25件 相談44件 情報共有、情報提供
まいさぼとの同席相談支援 38回 就労・家計相談（9回：内生活福祉資金に関するもの7件）
就労支援 コロナワクチン接種会場・施設内清掃の紹介→就労継続ならず

【すこやかスタディ・サポート】

- ・支援対象者 3(4)人 協力会員登録 11（9）人

【ボランティア活動・住民活動への参加と支援】

- ・ボランティアセンター相談件数 16件 R2年度取次件数（85）件
- ・ボランティア保険加入件数 団体・個人合わせて 21（30） 加入総数 262（253）人
- ・団体補助金申請 5（9）団体
- ・お助けマン登録者 92（92）人
- ・ぼらんていあ高森 発行 毎月1回 12回
- ・お助けマンだより発行 7月、9月、11月、12月
- ・お助けマン研修 5月14日
- ・サロン開催場所に出向く（ボランティアセンターについての説明、日常生活相談など）
- ・事業活動への作業依頼 小物作り、卒業式の花束作り、フードパントリー仕分け作業
- ・コーディネート（シーツ交換ボランティア、フードパントリー協力、希望の旅）
- ・平和の折り鶴つなぎ 7月5日～8月6日

- ・令和3年度飯伊ブロックボランティア交流研修会 高森町社協当番
8月18日 9月28日 オンライン会議
2月16日 冊子制作『コロナ禍の今、できる活動に目を向けよう!』
- ・令和3年度飯伊ブロック社協事例検討会
10月4日 実行委員会 オンライン 11月5日 実行委員会 飯田市社協にて
12月9日 事例検討会 3事例 グループワーク さんとぴあにて
1月26日 実行委員会 事例検討まとめ オンライン

(9) 地域生活課題への対応

【包括的相談】

- ・日常生活全般にわたる相談〈県・県社協・受託事業等含むすべての相談総数〉
相談件数 612件
相談内容毎にまとめ、必要時は関係機関へ繋いだ

【共同募金】

- ・共同募金活動 募金総額 1,845,725円〈次年度繰越655円含む〉(2,063,432円)
コロナ禍にて法人巡回募金・イベント募金運動中止
町内8事業者様に募金箱設置
募金箱：18,275円
戸別：1,543,073円 法人：221,500円
街頭：18,852円
〈10月10日(日) パース西口：11,881円, 11月14日(日) MEGAドン・キホーテ：6,971円〉
個人：11,963円 その他：7,619円 職域：23,788円
- ・中学校卒業式 カーネーションの花束を贈る 卒業生137名
- ・中学生全生徒へ赤い羽根周知のパンフレット作成し配布
- ・ひとり親家庭へマスク・生理用品準備と民生委員の皆様へ配布協力をお願い
- ・コロナ感染対策用アルコール配布(町内の保育園・小学校・中学校)
- ・ふれあい広場に替わる高齢者への品物配布に対する支援
- ・高圧洗浄機購入 7台
- ・常備食購入 粥120食 おにぎり100個

【日常生活自立支援事業】 高森町社協単独実施開始

- 6月までに飯田市社協より完全移行を行った
- ・対象者 8(3)人
- ・福祉サービス利用援助・日常的金銭管理(払戻 支払)・書類預かり

【食料・生活物資支援】

- ・フードバンク・フードパントリー実施
- ・10月22日 町内3店舗のファミリーマートとの契約によりフードバンク開始
- ・広報 有線放送 HPによる発信
- ・フードバンク信州コロナ対応子供応援プロジェクト：小学校へチラシ配布
- ・新型コロナ子ども・若者応援フードドライブ協力 北部ブロック社協への周知
- ・リユース リサイクルの呼びかけ 回収 提供
- ・エコキャップ収集

(10) 災害時支援体制

県社協 on-line

- ・防災！一瞬の判断と備え 6月8日
- ・長野県災害派遣福祉チーム員養成研修 6月10日、11日

- ・災害救助法って？被災者目線の災害対応 11月10日
- ・災害福祉簡単マップ実証実験研修 7月16日
- ・災害福祉簡単マップ実証実験発表 2月21日

県社協担当者による講義

- ・共助の力で地域の防災力を高めよう 3月10日 (民生児童委員会後 町との協同開催)
- ・高森町防災会議 6月29日
- ・高森町：防災対策会議 7月27日
- ・高森町地域ケア会議：防災・減災を目指して 12月16日

(11) 福祉学習

【地域応援隊活動:高森中学校】5月、6月、7月、10月

- ・平和の折り鶴繋ぎ、館内清掃、花植え、シーツ交換のお手伝い等
- ・認知症サポーター養成講座を予定したが、長野県下蔓延防止重点措置地域となり実施できず

【社会貢献活動】

- ・飯田女子短期大学1学年1名受入

【研究活動】

- ・愛知学泉大学家政学部4学年1名いきいき倶楽部にて受入
- 【高森中学校福祉体験活動、コアカレッジ介護職員初任者研修】
- ・新型コロナウイルス感染状況により中止

(12) 社協独自事業

【ひとむすび事業】 (生活支え合いサービス)

- ・利用会員 12 (4)人 ゴミ出し・草取り・外出支援 協力会員登録 11 (14)人
- ・相談件数 23 (14)件

(13) 生活支援体制整備事業

【協議体】

- ・ライブ配信研修 生きがい・助け合いサミットin神奈川 9月1日、9月2日
- ・生活支援コーディネーターを中心とした会議開催 10 (6)回
- ・サロン開催時の非接触型体温計の貸し出し
- ・高齢者に向けた地域生活資源冊子作成

(14) 団体事務局

- ・身体障がい者福祉協会
- ・遺族会 戦没者追悼平和祈念式典 11月3日
- ・コスモスの会
- ・高森町シニアクラブ連合会

(15) 広報活動

- ・あったかもり（広報高森）社協だより掲載 4回（年4回）
- ・暮らしの110番パンフレット、情報パンフレット（交流センターのワクチン接種会場に）
- ・ボランティア通信 12回（12回）
- ・お助けマン通信 4回

(16) 社会福祉充実計画の実施（1か年度目）

- ・事業用車両入れ替え：サイドリフトアップチルトシート装着車1台購入
- ・事業用車両増車事業：軽乗用車1台購入
- ・事業用設備更新事業：機械浴槽座位タイプ1台・搬送車2台 指名入札にて
- ・第三者評価受審事業：2月24日、2月25日受審〈訪問・通所事業所〉 3月30日講評
- ・長野県あんしん創造ねっと事業加入 7月
- ・職員の処遇改善の充実事業
4月新規職員採用、職員処遇改善（臨職手当付与・時給の引き上げ 全職員賞与）

3 組織

(1) 社協会員数

- ・一般会員 2,477 (2,651) 人 特別会員 107 (105) 人

(2) 役職員の状況

- ・役員 理事8人 監事2人 評議員14人
- ・職員

(令和4年3月31日現在)

部門	部署名	正規職員	臨時・嘱託	パート	合計
法人運営部門	総務・地域福祉	3	1	1	5
	ボランティアセンター	1	1	0	2
介護保険部門	居宅介護支援事業所	2	3	0	5
	訪問介護事業所	4	0	8	12
	通所介護事業所	5	2	15	22
	いきいき倶楽部	0	1	2	3
合計		15	8	26	49